



ステップ

第8号 1997年7月15日

発行人/北見土木技術協会

〒090 北見市北5条東2丁目
北見市都市建設部土木課内
TEL0157-25-1161

道外研修 “先進的”な公園などを視察

3月3日から5日間、30人が岐阜、東京へ

当協会主催の平成8年度道外研修は3月3日から7日までの日程で行われました。今回の研修には北見市役所土木課の豊田富司さんを団長に一行30人が参加。岐阜県や東京などの先進的な公園などを視察しました。その内容を五十嵐建設の松橋寛明さんが紹介します。



岐阜県養老公園養老天命反転地



道外研修に参加した皆さん

空路で名古屋へ

1日目 3月3日

晴天の女満別空港を、全日空328便は、定刻の14時40分に離陸。眼下には、雪と氷に覆われた屈斜路湖や阿寒湖、そして斜里岳や摩周の山々が広がる。しばらくは、この冬景色ともお別れだ。

約2時間のフライト中、噴煙たなびく浅間山や南アルプスの山々を眺め、またかなたには、雲海に浮かぶ富士山を見る事ができ、その大きさに感激。16時45分名古屋空港に到着。空港に降り立ち、まず「春」を実感、空気が暖かい。バスに乗り名岐バイパスを走る約1時間半、長良川温泉に到着。あたりはすっかり薄暗くなっていた。

まず風呂へ直行、長旅の疲れをいやす。そして喉をビールで潤す懇話会が始まり自己紹介。初対面の人もしっかり打ち解け、明日からの行程に思いを馳せる。

不思議な庭園見学

2日目 3月4日

今日も晴天で絶好の見学日和。2日目の最初の見学地は、岐阜県立美術館。同美術館は19世紀末フランスに登場した象徴主義を代表する画家ルドンの作品を中心に絵画、彫刻等約2,000点所蔵している。しかし展示スペースや作品保護の関係から一部しか公開することができない。そこで全作品をデジタル信号で静止画像データとして保存、150インチの大型ディスプレイで再生し鑑賞できるハイビジョンギャラリーを世界で初めて開設したそうだ。

また、十数年前に2億7,000万円で購入したルノワールの「泉」という名画を所蔵展示している。現在の推定価格は10倍とのことで非常に驚いた。たぶんこの機会がなければ、一生じかに観ることはなかったに違いない。

次の目的地、日本3大急流の1つ、木曾川日本ライン下りの



岐阜県立美術館

乗り場美濃太田へ。船は船外機付きで幅1.5m長さ8.0mでフード付き、座席には向かい合って座る。乗船距離は約13kmで、急流が7カ所ほどある。ライオン、ラクダ、夫婦等の名前が付いた奇岩、怪石を見やり、溪谷をぬい、約1時間、時折現れる急流にスリルを味わいました。

この日最後の見学地岐阜県養老公園は、名湯養老の滝を中心とした養老山麓の自然と芸術・スポーツ施設を備えた総面積78haの都市公園である。キャンプ場、パークゴルフ場、パターゴルフ場、テニスコート、子供の国、養老天命反転地そして養老の滝、散策路等の施設で四季を通じ自然とのふれあいができる憩いの場だ。

ここにしかない施設、それが「養老天命反転地」です。世界的に有名なアーティスト荒川修氏とその友人で詩人のマドリン・ギンズ氏の構想による庭園です。養老天命反転地には、楕円形にくりぬかれた巨大な窪地があり、そこには大小さまざまな日本列島が横たわり、これに重なりあながら半球状の小山と窪みが点在し、さらに複雑な起伏を獲うように迷路のような回遊路が張り巡らされている。東側には、「極限で似るものの家」と呼ばれる不思議な建築物があり、ここでは、予想もつかなかった風景や懐かしい風景、いろいろな出来事に出会うことができるとか。反転地が斜面に構築されているため、回遊路は急な登り下りの連続で、その表面は凸凹で歩きづらくなっている。バランスを失うことを恐れず、

感覚を作り直すつもりで楽しむ心のテーマパークだそうだが、作者の思惑を何人が理解するか？

名古屋駅でハプニング

3日目 3月5日

ホテルから徒歩でJR名古屋駅へ。実はここで大ハプニングが起きた。T氏とO氏と別の旅行者2人の計4人が1つ前の列車に乗ってしまったのだ。発車のコールがありドアが開いた時に違うことに気がつき、4人のうち1人がドアをこじ開け隙間から足を出した。列車はドアがきちんと閉まらないため発車できず異常事態に気がついた駅員が駆けつけドアを開け、4人は無事ホームに戻してもらった。しかし正確さで世界に誇る日本の鉄道ダイヤを数分も遅らせてしまったのである。

時速300kmのスピード感を味わうこと1時間半、新横浜に到着しバスに乗り換え横浜のホテルへ。あとは市内自由見学。数人のグループに別れ地図を頼りにみなとみらい21、山下公園、中華街、港が見える丘公園などを見学。夜はホテルで、本場中華料理を食べ大満足の日であった。

スケール大きい昭和公園

4日目 3月6日

都内を経由し約2時間かかって目的地立川市へ。立川市は、都心部から西へ約35km、武蔵野台地の一角に位置し、人口16万人の都市。南関東地域における大規模災害時の広域防災基地にも指定されている。見学地は、約20年前に返還された米軍立川飛行場跡地に整備された国営昭和記念公園だ。

この公園は、昭和天皇在位50周年の記念事業の一環として、また「緑の回復と人間性の向上」をテーマに建設された敷地面積約180haの大きな都市型公園で



国営昭和記念公園内のレクリエーション施設



す。概要は、5つのテーマゾーンで構成され、文化施設ゾーンには文化広場、カルチャーセンター、展示ゾーンにはカナル、レストラン、展示広場。また、水面に親める水のゾーンには5haの大プールと水鳥の池や水遊び広場、広場ゾーンには、約10haのみんなの原っぱ、野外炊飯広場、溪流広場、運動公園、パターゴルフ場等がある。

森のゾーンには、子供の森、日本庭園、北の森(現在造成中)等があり、園内には、たくさんの花木が植えられ、約7kmの歩行者園路、約11kmのサイクリングコースが縫うように造られている。都心に近く交通の便も良く、都会にはない広い空間のびのびと家族連れで楽しめることから、昨年度は、214万人の利用があった。

この公園では、園内で発生する剪定枝や刈草等の植物性廃棄物(年間5,800m³)を堆肥として再資源化し有効活用している。リサイクルの方法は、剪定枝等を破砕機で破砕し発酵菌を加え攪拌し2~3カ月で完熟した堆肥が作られ、年間では約640m³も作られるそうだ。

計画から現在まで19年余りかけて造られたそのスケールの大きさと「緑の回復と人間性の向上」をテーマに建設されたすばらしい公園だなーと大感激。

でもわが北見には、自然がいっぱい、公園を作るというより公園として自然を保護する方がよいのではないかなと思う。人工的な公園より自然を生かした公園を。

同市の基地跡地を再開発した地域「ファーレ立川」では、街全体をステージに見立て世界35カ国、92人のアーティストによる多種多様なアートが展開されている。アートの素材は、街灯や車止め、建物の外壁や換気塔、ベンチ等で、109点もの国際色豊かな現代芸術作品が街のいたるところで、日常的に見られる。これら作品群は都市機能とマッチしている。驚きと発見に満ちた文化創造の街です。しかし、いつも思うのだが、緑が少ない。都市は、緑を必要としないのか？芸術も良いがすべて人造物の中での生活。こころ安らぐ緑を都市の中にも。

関越自動車道を走ること約4時間、伊香温泉ホテル天坊へ到着。早速温泉につかり旅の疲れをいやす。

好天に恵まれ、帰路へ

5日目 3月7日

研修中は好天に恵まれました。最後の訪問先、榛名町にある複合ゴミ発電施設高浜発電所の見学を終えバスに乗り込み羽田空港へ。15時55分発女満別行き JAS 185便でまだ雪の残る北に到着。

暖かい研修地と比べるとまさに季節の逆戻り。しかも暖気と雨で雪道がシャーベット状態になり、市内至る所で車が立ち往生。そんな光景を見て北見に帰ってきた実感が(家に着いたら除雪だ!)…。北見の春はまだ先であった。

いま 世界は

リサイクル先進地—米国エドモントン市 意識の高さが街並みや公園づくりに

北見管工事業協同組合 桂 聡子さん

私が第8期生として青年ジェット研修に参加してちょうど1年になります。

姉妹都市エリザベス市訪問やだれもが憧れるニューヨーク、そしてエドモントンでのホームステイを含むカナダ〜アメリカ11日間の研修旅行。それは同行した添乗員が記した言葉通り、「超立体旅行」と呼ぶべき11日間であり、私にとってはかけがえのない心の財産となった研修でした。

さて、この研修の中で私たちが一番関心を示したのがエドモントン・リサイクルセンターです。北見市も今年4月よりゴミの分別収集を開始しましたので、

今回は海外での「リサイクル」にスポットを当ててみたいと思います。

エドモントン市では各家庭にリサイクルボックスを設置しています。紙・ガラス、プラスチック等は指定された方法でビニール袋に入れて回収され、このリサイクルセンターでさらに分別、そして再生会社へ届けられます。また、リサイクルに協力してもらうためにショッピングモールやテレビなどで積極的に呼びかけたり、リサイクルの意味を子供のころから理解できるようにと、小学校などにも回ってPRしているとのことでした。

「3R」(Reduce(減少)、Reuse(再利用)、Recycle(再生))。これがこのセンターの基本です。ごみはできるだけ減らして、自然や資源を壊さないようにしようということの意味です。仕分け作業を見学した際に気づいたことは、空瓶や空缶などさまざまな容器が扱われているにもかかわらず、あまり臭いがしないという点です。つまり、家庭からこれらが出される時にはきれいに洗っているためなのです。ここでも市民のリサイクル意識の高さを感じさせます。

今年4月から始まったゴミの分別収集。今まではコンビニぐら

いで見かけなかった分別用のごみ箱もあちこちで設置されています。北見市は国内はおろか北海道内においてもかなり遅れた着手です。これを契機に、まず環境に対する意識を根本的に見直す必要があるのではないのでしょうか。

エドモントンは自然や資源が豊富にあっても、環境問題やリサイクルに積極的に取り組んでいますし、市民も非常に協力的です。コスト削減のためにアルミ缶やビール瓶の回収を行う私たちとは違い、同じことを行うとしても「自然や資源の保護」が目的となるのです。この意識の違いが芝生の整備された公園、

そして美しい街並みを造る要因だと私は思います。

街は市民の構想で変化していくものです。街づくりは市民の手で行われていくものです。自分の住む街がより住みやすく、また人々から愛される街になることが市民の常なる願いです。そのためにはリサイクルに対する取り組み方や環境に対する私たちの意識を改善することから始まるのではないのでしょうか。

実際に実現していくことが容易でなくても、その可能性を求めるのが私たち市民なのでから…。



芝生など整備されたエドモントン市内の公園

土木工事と造園

園芸療法は心身の向上を促す

ハーブのガーデニングで元気に健やかに

園芸療法とは、「園芸を通して人間の心と体の双方に及ぼす植物の治療効果を生かした療法」。園芸療法が最近良く言われるようになった背景には、「植物の生命活動、諸機能を人間生活の快適化や環境の改善に役立てようとの試み」があるようです。植物と自然の持つ治癒力には計り知れないものがあり、具体的には「植物とそれを活用する園芸や庭作りを、精神的あるいは身体的障害の治療に応用し、また職業訓練の一科目として、あるいは高齢者の余暇の増進へと発展させる、植物の新たな能力を開発しようとするもの」です。「植物あるいは植物に関連する諸活動(園芸、ガーデニング)を通して、身体や精神の向上を促し、かつ鍛える療法」ともいうことができます。

植物あるいは園芸活動は、障害や障害を持った状態を改善し、

障害者が環境に適応し、社会復帰を促すための治療やリハビリテーションの有効な手段として活用できます。また生活の質の向上を図ることができ、これは健康者、障害者に限らないことです。生活の中に植物があるということは生活環境の改善にもつながり、さわやかに過ごすことができます。良く知られているように、植物は空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を供給し空気を浄化してさわやかにする効果があるからです。

特にハーブ(香草)を用いた園芸療法は身体の運動機能の訓練や情緒の安定、精神的発達、さらには家族のコミュニケーションにも寄与します。重度の知的あるいは身体的障害を持つ人、ふさぎこんでいる人、記憶喪失症の人には五感を刺激する要素を積極的に取り入れたセンサリーガーデンが用いられます。毎

'97 ウーマンパワー

高橋鉄筋(株) 新谷 君子さん

私の仕事は鉄筋加工です。去年までは現場でした。現場に行けば、高い所や穴の中、雨の日もあり大変ですが、学校、団地、マンション、橋台、擁壁など、出来上がった建物を見ると、「あれ、私の所でやったの」とうれしくなります。

現場監督には「お宅には、女の人いるのかい。声は聞こえるけど姿見えないんだよ」と。どこから見ても、女に見えないらしいが、声だけは女らしい。

いつまで出来るのか、きつい仕事。楽しい気分で働きたい。



日外に出てガーデニングすることで少しでも日光に当たることで鬱状態を改善できるとの報告もあります。ハーブのガーデニングで外に飛び出して、元気に健やかに過ごしたいものです。

(情報提供:ハーブブティック スカポロフェア)

開基100年の足どり 君が生まれた時、北見は

(昭和21~大9)

北見市は昨年、明治30年北光社移民団と屯田兵により開拓の礎が下ろされてから1世紀の歴史を刻みました。
開基100年の足どりを土木建築中心に振り返り「君が生まれた時、北見は」を年表で紹介します。第8号では昭和21年から明治30年までを掲載します。(参考文献：北見市史・年表1987年発行)

西暦年号	出来事
1946年 昭和21年	2. 28 ハッカ工場、職員員住宅5棟10戸建設 6. 10 相内村開基50周年 8. 5 1条東1に市立図書館開館 8. 10 NHK北見放送局開局 9. 15 日刊北見新聞創刊 10. 2 貨車事情悪く北見地方の各駅滞貨、馬鈴薯の滞貨30万貫に達す 北見市1,803人589世帯の引揚者受け入れ
1945年 昭和20年	2. 北見地方のトド松・エゾ松から採油 3. 18 北見中学・北見高女1年間授業停止で常勤労働員第2次世界大戦終戦 8. 15 小中学校教科書の軍事的部分を墨で消す 10. 小中学校の冬期燃料不足を補う焚付採取の進足しきり この年市内各地に農林可耕地の測定をし、開成地区道有林の仮分割が行われ、21年4月より戦災引揚者の入植行われる
1944年 昭和19年	2. 1 市内の映画館、女座席を除き休止命令 3. 31 屯田川の改修工事と土地改良事業完成 昭和7年から継続の事業で北見市界より西29号線までの3里の河川改修と不毛地、湿地の買田を図った市内小学校の待避場施設作業はじまる 8. 7 北見保健所4条西1丁目に設置 9. 上仁頃15号線と豊地地区の配電線延長工事始まる 12. 27 北見航空機会社創立
1943年 昭和18年	7. 北見地方の合板工場、航空機のプロペラ船艇用材の製作に忙殺される 8. 1 航空機用合板と合板を供給する目的で松下山材製材所設立 8. 12 北見地方の青年、山林を空襲から守るため防火線の開伐を始める ・野付牛公園一帯陸軍の防空陣地と畑になる ・開成園道連絡道路開削 ・北見地区8号線沢で伐木、炭焼、架橋工事 ・北見中学生徒の援農作業頻繁となる
1942年 昭和17年	1. 16 3条東1に野付牛商工会議所会館竣工 1. 野付牛ラジオ臨時中継放送所設置 6. 10 市制を施行北見市となる。人口32,297戸戸数5,732戸 名塩漁港、駅前土地建物を図書館として市に寄付 ・相内村民が屯田川の改修工事に出役 ・安田銀行北見支店を閉鎖。22年富士銀行北見支店として再開
1941年 昭和16年	4. 16 北見地方から大陸移民団、23家族120余人小樽港を出港 4. 22 相内村市街地大火、72棟焼失 11. 18 西小学校校庭で二尊尊徳像献納式 12. 8 太平洋戦争始まる ・美園地区灌漑溝第3期改修工事で水田急増
1940年 昭和15年	3. 1 中ノ島に野付牛精工工場(航空機燃料)新築落成 8. 野付牛で米の統制実施、切符制となる 11. 10 戦艦2800年記念式典挙行 11. 19 野付牛商工会議所の設立許可 ・後の日定寺、聖光寺の教務所開設
1939年 昭和14年	4. 1 野付牛警防団が結成 5. 5 野付牛警察イトムカ水銀山開発着手 6. 野付牛町役場新築落成(6条東1) 7. 31 ピアソン部会会館フィラデルフィアで死去78歳 9. 1 北見・日刊北見・北見毎日・野付牛新聞の4社を合併して「北見新聞」となる ・7~8月常呂・武華川薬毒で氾濫、凶作となる
1938年 昭和13年	3. 12 野付牛町で初の防空演習 3. 15 野付牛警防団、旭川放送局で野付牛小唄放送 7. 札幌・網走の囚人各200人を中心とした全国の囚人1,250人を乗せた海軍飛行場建設に出動 8. 22 泉町に屠殺場竣工 11. 27 野付牛警察署竣工 ・黒部の沢(常川)道路開削される
1937年 昭和12年	1. 日清製粉北見工場操業開始 3. 13 ピアソン夫人フィラデルフィアで死亡 4. 16 全道生産ハッカ集検検査所の地鎮祭 10. 1 野付牛高等女学校、庁立となる ・北見地方のハッカ取卸量史上最高 ・この年、野付牛駅の利用乗客47万1,532人 降客32万5,488人
1936年 昭和11年	7. 7 日清製粉北見工場操業開始 8. 豊地青年団が武華川橋~豊地地区の2間道路100間の道路開削を行う 9. 8 仁頃尋常小学校竣工 11. 7 上常呂尋常小学校竣工、工費9,700余円 ・この年から北見地方の耕地の暗渠排水工事始まる ・5条西2に映画劇場稲荷座開館
1935年 昭和10年	6. 21 開成橋竣工、工費4,800円 8. 29 小町川の氾濫による家屋浸水、常呂川4号線の吊橋及び上仁頃川22号橋の流失 10. 大通西1に鉄骨製橋(H=21m)の消防庁舎新築 11. 10 日赤野付牛療養所開院、工費72,700円 ・高台緑ヶ丘にスキー場造成 ・この年開成でベントナイト発見される
1934年 昭和9年	2. 13 内務省技師神尾守夫が町の都市計画調査のため来町 相内橋架橋工事竣工、全額国費 4. 25 6条東1に野付牛公益質屋新築 10. 29 ハッカ工場精製のハッカ、小樽港を出港しニューヨークへ、60ボンド入10箱を1,700ドルで初輸出 12. 4 阿寒・大雪山国立公園に ・野付牛~相内間道路拡幅工事
1933年 昭和8年	6. 21 大通郵便局設置 7. 20 網走刑務所の囚人通帳開削工事に多数出役 10. 北見地方で割箸製造盛ん 11. 3 北見ハッカ工場竣工 12. 23 道東最長の新川橋(常呂川雄野1区)竣工 ・野付牛自動車バス事業始まる ・野付牛にある乗用車15台、オートバイ11台



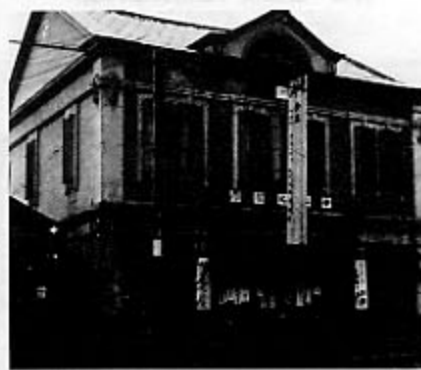
昭17 市制施行



昭14 野付牛町役場新築(6条東1丁目)



昭2 ビルディング百貨店(大西1)現ラルズ店



大9 伊谷呉服店(大西2)



大3 ピアソン邸

西暦年号	出来事
1932年 昭和7年	4. 東4~6号線へ灌漑共同土木工事開始 5. 23 野付牛役場全焼、損害約5,000円 9. 北海道の監獄部型土約14,000人 10. 1 石北線全通 11. 12 野付牛中学校第1回強行遠足 12. 大通東1~西1アスファルト舗装竣工 ・4条西1簡易健康相談所(保健所の前身)設立
1931年 昭和6年	3. 野付牛自動車隊創立 4. 21 1条郵便局設置 5. 1 初のメーデー行進行われる 8. 9 金比羅橋(常呂川)竣工、大正11年8月24日流失したものを 10. 8 常盤橋竣工、工費7,400円 ・国鉄網走線全通 ・谷虎雄、新築工場を構築 ・この年大凶作、多くの農家の生活行き詰まる
1930年 昭和5年	4. 24 若松橋14,850円で落札(7.13竣工) 5. 21 野付牛郵便局6条東1に移転 6. 3 北見鉄道開通、止別小清水間運送開始 10. 1 第2回国勢調査、野付牛町戸数4,955戸人口27,760人 10. 1 町に酪農工場設置 11. 28 野付牛信用組合設立 ・置戸小利別間道路の開削される
1929年 昭和4年	3. 27 野付牛区裁判所設置 4. 1 相内村・雄野村に北海道一級町村制施行 相内村戸数731、人口4,488人 6. 20 創設地裁支部野付牛区裁判所庁舎竣工 8. 12 石北線丸瀬布~白滝間開通 10. 野付牛産たまねぎ2'が初めて貨車に積載され移出 11. 28 北見産米25万石祝賀会 ・森永煉乳工場、桜町に移転 ・この年野付牛中学校寄宿舎建設
1928年 昭和3年	3. 1 野付牛消防組が常設、自動車ポンプ購入 4. 1 大通西1に消防官備部建物建設設置 5. 10 ピアソン部会会館 ・大正9年からの常呂川河口流域49万の治水工事終わる ・広郷の川橋橋脚部、フォードリントラクターを購入、馬鈴薯40町歩を栽培
1927年 昭和2年	4. 1 東小所沢川向敷橋(川東分校の前身)の設置 10. 11 駅前ビルディング百貨店落成開店 11. 相内土功組合の灌漑幹線工事完成し、造田事業進む 中央薬局小沢次郎商店、黒部旅館新築 ・樺太、ブラジル転出者30余戸、200余人に達す ・常呂川左岸橋門工事着手、完了 ・河西社丹敷、札幌鉄道局から名所に指定
1926年 昭和元年 大正15年	3. 23 野付牛女子職業学校高台に新築移転 4. 1 3条西4に小林病院開業 6. 1条西1に会館(現在のまろしょう)創立 7. 10 相内土功組合設立 12. 25 天竺山(1879年生、48歳) ・鉄輪馬車に代り保線車の使用始まる
1925年 大正14年	1. 森永乳業野付牛工場兵村1区で操業 8. 13 宇堂寺上棟式、木材は若松・仁頃より搬出、手挽き 11. 15 国産鉄道美幌~北見相生間全通 ・野付牛~滝別間拓殖費道路起工、第1工区として大通東6丁目起点、若松温泉まで着工 ・野付牛駅に火防用井戸を掘削 ・毛呂別(現美里)に公会堂建設
1924年 大正13年	3. 31 野付牛土功組合設立許可 高台に町営住宅27棟54戸建設 10. 野付牛駅前交番新築 ・土庫併、大通西1に製菓業野付牛製菓所を設立、昭和2年野付牛ビルディングを設立 ・西相内開成村落で初めて自転車使用
1923年 大正12年	4. 野付牛商工会設立 5. 1 野付牛女子職業学校設立許可 5. 28 野付牛土功組合設立許可、大正13年5月灌漑工事着工 7. このころ市街地工場、住宅などに電線架設進む 8. 9 貴族院議員堀田伯耆乃梅之家で敬遊、常呂川の根本治水を確信 11. 30 野付牛中学校校舎落成式 ・五十嵐源次郎、5条西5に土木建築業を開業 ・山寺松造、1条西1に西洋料理兼儀球の会館野を経営 ・2条東1に北海道拓殖銀行野付牛出張所、鉄筋コンクリート白亜地蔵を新築
1922年 大正11年	2. 上常呂に警察官駐在所を設置 3. 7 庁立野付牛中学校設立許可 7. 相内村役場新庁舎落成 10. 8 野付牛中央尋常小学校(現中央小)設立 11. 17 北海タイムズ社北見支局設置 ・田巻仁作、3条東4に田巻美石園を開く ・大通、駅前通、役場、警察署構内に植樹を行う ・稲荷神社前、土蔵改修を行う
1921年 大正10年	4. 1 野付牛町から相内・雄野分村 野付牛町 4,254戸 21,820人 相内村 708戸 3,768人 雄野村 862戸 4,764人 4. 1条東5に活動写真館「神田館」設立 8. 相内私設消防組、公設となる 9. 16 野付牛警察分署、野付牛警察署に昇格 10. 野付牛・相内・雄野を貫く大灌漑溝建設のための土功組合設立への道開く 12. 7 町立伝染病隔離病舎開設 ・駅前通を一直線西3号まで開削、通称「観兵道路」と呼ばれる ・河西貴一、3条西4に洋食業河西野を開業 ・このころ、野付牛の5大町屋があった ①中学校設置 ②電灯町営 ③仁頃への鉄道敷設 ④水田作奨励と灌漑奨励 ⑤豊地火葬場の整備
1920年 大正9年	2. 23 野付牛運輸保衛事務所庁舎落成 7. 1 1条西2に十二銀行(後の北陸銀行)支店設置 7. 1 北光社に水位観測所設置 7. 6 上常呂郵便局設置 11. 野付牛~常呂港道路、準地方費道路に編入 11. 常呂川治水計画実施に入る 12. 武華川、地方費支弁の河川に編入 ・伊藤元治、呉服店を石造二階建てとする ・新保藤次郎、小公園造成(後の野付牛公園) ・後の常念寺の脱教所開設

開基100年の足どり 君が生まれた時、北見は

(大8~明30)

西暦年号	出来事
1919年 大正8年	1. 2条西3に劇場友楽座開館 2. 1 北見印刷所設立 4. 野付牛芸林区分署設置 5. 5 鉄道診療所新設 9. 22 常呂川・武蔵川氾濫し、若松橋流出、汽車不通、高台下公会堂付近濁流と化す 9. 北見製氷所設立 10. 1 野付牛東尋常小学校設立 11. 一力商事所設立 ・山上岩松、大町に土木建設業を開業
1918年 大正7年	3. 1 仁頃郵便局設置 4. 1 上常呂小第1特別教授場(後の開盛小)設置。父兄250円の寄付で15坪の教員住宅を建設 4. 鉄道(現南仲町)にテニスの「鉄友コート」新設 6. 23 秩父事件の井上伝蔵1条通の家で死去 6. 馬場昌久、現屯田東町に酒の醸造工場新設、銘酒「北の天」 7. 6 一力製氷所設立 8. 6条東1に網走区裁判所野付牛出張所設置、登記事務と供託事務を扱う ・武蔵川奥園に村民で栄橋架設、大正12年、昭和22年架け換えられる ・野付牛遊園地敷地造成される ・土工部最盛期、道内雇入れ17,888人のうち、死亡484人、逃走6,288人、受刑6人
1917年 大正6年	4. 1 相内第1特別教授場(現東相内小)設置 4. 11 大正特別教授場(現大正小)設置 9. 1 北海道拓殖銀行野付牛出張所、1条東1に民家を借りて開業 11. 野付牛町役場、大通東9から4条東1に新築移転 ・この年、旭川~北見鉄道運成運動起こる ・5条東5に後の真陸寺、後の弘正寺の説教所をそれぞれ開設
1916年 大正5年	1. 野付牛で合板製造始まる 3. 21 新橋・美幌・野付牛間長距離電話開通 4. 1 町制を施行、野付牛町となる 6. 26 ピアソン夫人、遊藝設置反対運動を起こす 11. 21 野付牛から下湧別まで(野付牛~社名湖まで開通済)拓殖軽便鉄道全通 11. 26 帝国製菓野付牛製菓工場開場 11. 27 野付牛森林事務所新庁舎竣工 ・二本松炭、武蔵川本流を遡り踏査、石北国境を越え旭川に出る ・町内に三角ベース(球技)流行する
1915年 大正4年	4. 1 野付牛に二級町村制を施行、置戸・武蔵村を分村 4. 16 大通西6に私立野付牛女子職業学校開校、大正9年廃止 6. 15 上相内特別教授場(西相内小)設置 7. 1 中の沢特別教授場(豊地小)設置 9. 火力発電所竣工、町内点灯開始 9. 11 野付牛競馬会開演 12. 道庁土木部長来村、1中隊から野付牛市街までの南岸道路2里の開削と上常呂~津別間道路開削を策定 ・本沢に石川団地入地、北側に若田農園開設、上常呂大地に川畑農園開設、養粉工場開設 ・北光社に八幡神社造営 ・1条東3に日の出芽真館建つ
1914年 大正3年	1. 国作救済事業として網走支庁が道路の砂利敷き工事を行う 4. 伊藤元治、まるいの屋号で呉服、太物、洋物、金物等の店舗を開く 5. 11 野付牛大火、1条西3丁目から出火、340戸焼失 5. ピアソン宣教師夫妻、野付牛に移住 10. 5 留辺蘂~下生田原間開通、かねて開通の野付牛~留辺蘂に接続 ・名塩良産、大通1に菓子店を開く ・若松地区入植の向井三四郎、若松温泉旅館を新築営業 ・谷武次、新聞「北見毎日」を発刊 ・道内土工雇入れ17,189人のうち死亡160人、逃走4,471人、受刑71人
1913年 大正2年	3. 北光社を風田農場に譲渡 4. 1 若松特別教授場(現若松小)設置 5. 20 横濱銀行(安田銀行前身)野付牛支店設置 5. 野付牛遊査部長派出所、野付牛警察分署となる 8. 1 常呂川に水位観測所設置 8. 野付牛 尋常高等小学校新築工事始まる 10. 常紋トンネル開通、死者百数十名の墜落祭挙行 11. 16 野付牛と網走・美幌間に電話通話開始 ・工事中断されていた3条通、4条通の道路開削される ・黒部幸太郎、園成地区に農場を開設
1912年 明治45年 大正元年	2. 11 上仁頃教授所竣工式 2. 野付牛私設消防組、公設に移管 3. 国有鉄道湧別線(野付牛~下湧別)、軽便鉄道法に基づき工事始まる 3. 野付牛初の月刊誌「北の植民」創刊、翌年「北見新聞」に 4. 6 市街地から2号線に通ずる橋梁修繕工事竣工 5. 秩父国民党的井上伝蔵、野付牛に潜伏 6. 材料の寄付を受け、大通西1~東2まで下水溝を竣工、工期1ヵ月、工費785円 7. 3 石原北海道長官野付牛を視察、次の陳情を受ける①村有財産造成、②野付牛~常呂右岸道路開削、③ムカ川地方費支弁編入、④中野付牛市街地道路補修、⑤訓子府排水道路開削、⑥ルベソ市街地郵便局設置、⑦一級町村制施行、⑧野付牛停車場設置 7. 30 明治天皇崩御(61歳) 8. 5 野付牛屯田会を解散、11月12日野付牛産産合資会社を設立 8. 31 野付牛郵便局移転新築の上棟式 10. 5 網走線全線開通(池田~網走) 11. 18 相内(現東相内)駅、上相内(現相内)駅、留辺蘂駅開設 12. 26 市街地整備の一つとして小松川の改修・魚業市場開業

西暦年号	出来事
1911年 明治44年	2. 市街地に船荷明神小科建立 4. 6 相内奥園に無集配郵便局設置 8. 10 新市街地区画道路工事と排水工事、3,395円で岩澤岡の助に落札 8. 10 新市街地1条通、2条通道路舗装3,450円で岡田屋組に落札 8. 16 常呂村大水害、野付牛との交通途絶 9. 25 野付牛駅正式開駅 ・オケトウナイ原野基礎を基点にオンネナイ原野11号に至る道路完成
1910年 明治43年	6. 野付牛火防組合設立 7. 4 野付牛鉄道第10区竹田部屋頭竹田千代次郎、夫人の虐待甚だしく、夫人水坂姓半に草刈機で襲われ重傷下仁頃特別教授場(下仁頃小)開設 7. 15 野付牛駅設置により、北1~5条、東1~5丁目、西1~6丁目道路開削の企画を立てる 10. 19 建設列車歓迎会体育場を開く ・屯田用地を市街地とし1,000戸分の区画を行い住民に貸与する ・帝國議會、野付牛~名寄軽便鉄道の建設計画を決定 ・北見地方でピートの試験栽培行われる ・水津春雄、大通東5で菓子商梅花堂開店 ・土井市蔵、駅前に対前屋を開店 ・料亭「梅之家」開く
1909年 明治42年	4. 1 野付牛に二級町村制を施行、生原村を廃し野付牛村大学オケトウナイとする 10. 鉄道敷地として市街地の買収が行われ宅地20~30銭、畑8~12銭所有者から不満の声上がる 池田~網走間工事の鉄道工夫300人、翌年の野付牛~網走間工事に3,000人乗り込予定者手配 ・南6条西6号起点的更古朱内(開盛)道路開削 ・豊地に飯田牧場、高台に出尾農場開設 ・仁頃に本覚寺附属説教所設置(後の聖光寺) ・地野1区兵村からヒウシナイ川を渡り1区給与地を横断して常呂川に架橋、2区中央の入口を経て中央道路に結ぶ道路開削

西暦年号	出来事
1908年 明治41年	4. 2 キトイ駅設置 4. 松倉現十勝から初めて若松に入植 4. 村の有志、東4号線の道路を改良 8. 30 相内尋常高等小学校仁頃教授場(仁頃小)設置 ・農事試験場北見分場が初めて米を試作、1反から1石余の収穫 ・訓子府を起点に相内に至る高地に福民道路開かれる ・ムカ川に相之内橋架設される ・訓子府の白楊材を野付牛丸工工場に流送する
1907年 明治40年	3. 北海道鉄道作業局旭川建築事務所野付牛派出所を設置 5. 31 北海道地方農事試験場北見分場を設置 常呂川増水し橋梁流失 ・野付牛遊査駐在所、遊査部長派出所に昇格 ・留辺蘂駅通を起点としてムカ川を渡りオンネ川に至る福民道路開削、温根温泉繁栄の基となる ・向井藤太郎、常呂川を渡り若松地区を踏査、いばらを指して小径を造る ・仁頃より相内に至る福民道路起工 ・野付牛駅運取扱人田尾茂五郎、屯田大隊用材をもって駅通舎を新築
1906年 明治39年	3. 野付牛私設消防組結成される 4. 仁頃原野の華園農場に移民50戸入植 5. 常呂川増水、東4号線常呂川橋梁流失の危険に瀕したが消防手の出動で無事 ・池田~網走間193.7kmを実地測量 ・上常呂南8条西10号線から、常呂川を渡り南9号線に出て常呂川沿岸を南西に上り南12線西23号線に至る訓子府南岸線道路開削 ・斜里村とともに野付牛(現網走町域)でハッカが盛んに栽培される ・富藤彦、村医として入地、野付牛初めての医師
1905年 明治38年	1. 31 相内尋常高等小学校全校舎 6. 25 合資会社北光社を株式会社北光社に組織替え 8. 現北見神社の位置に護国神社を遷社 ・市街地に私設消防組が組織される ・このころ市街地は51戸
1904年 明治37年	1. 沢本彌弥、高知県から衆議院立候補のため引き揚げる、以後前田駒次が北光社農場の経営に当たる 2. 5 北光社講義所設立 7. 大洪水で常呂川の由比橋・大谷橋、無加川のオンネ橋橋流失、農作物の被害大 8. 4 日露戦争で北見屯田兵が旭川に入隊 10. 1 沢本彌弥、郷里土佐で病死
1903年 明治36年	2. 野付牛衛生組合設立 7. 26 北光社のクリスチャンの地に集会所兼牧師館を新築 ・野付牛南岸忠武士内人口から網走に至る野付牛南岸道路を開削、後に道道はハッカの産地 ・野付牛~美幌間道路起工、37年竣工
1902年 明治35年	4. 1 「網走週報」を創刊、明治38年7月「北見新聞」と改題 6. 鈴木徳久、第2入馬川の水力を利用し和式水車で精穀を営む、またマッチ軸木の製造を始め ・野付牛(現訓子府町域)でハッカ栽培行われる
1901年 明治34年	3. 4 相内尋常小学校に高等科を併置 3. ピアソン宣教師北光社で伝道 5. 浄土真宗本願寺派説教所を本覚寺と公称 6. 2 野付牛尋常小学校に高等科を併置、野付牛尋常高等小学校と改称 ・佐伯雅貞、説教所を開く(42年高台寺となる) ・梅原竹蔵が梅原旅館、黒部幸太郎が黒部旅館を開業 ・端野常呂橋から常呂川に沿ってアシリコタンまで道路開削、41年常呂港まで全通 ・留辺蘂~相内~野付牛~網走1区に至る産産開削に屯田兵が出動し35年全通 ・沢本彌弥、前田駒次ら野付牛~湧別鉄道敷設の運動開始
1900年 明治33年	8. 18 訓子府尋常小学校(上常呂小)開校 8. 北光社でキリスト教の礼拝集會を行う 10. 北見鉄道運成期成会を組織 野付牛に初めて青年団設立 ・吉川次郎左衛門、ホリカン川を利用して水車場を設置し製粉、製麦を行う
1899年 明治32年	7. 北見製紙合資会社を創立しマップ軸木の製造を始め 11. 北光社社長沢本彌弥ら北見鉄道運成運動を行う ・北光社農場内傍土から片岡に至りクネツ川に注ぐ1線を排水道路として開く ・中央道路8~9号間からムカ川を渡り、上常呂小橋に至る福民道路が開かれる(クネツ川道路、9号線道路)
1898年 明治31年	9. 7 常呂川、無加川大洪水、屯田兵村・北光社ともに大被害 9. 10 野付牛中央尋常小学校(現西小)が大通西6丁目開校 10. 29 網走尋常小学校・相内尋常小学校開校 ・前田駒次、北光で水稲を試作するが結果せず ・市街地で寄付をもって排水溝を掘削 ・屯田歩兵大隊長に三輪光俊少佐就任
1897年 明治30年	1. 26 北光社移住民規則定められる 4. 4 沢本彌弥に引率された北光社第1農場野付牛へ向かう移民団、高津丸で浦戸港を出発、後に須崎港でも移民を集める 4. 16 相内郵便局(後の野付牛郵便局)開設 4. 24 大通東10に網走警察署野付牛遊査駐在所を設置 5. 2 北光社移民団到着 5. 7 北光社移民団、野付牛の本部移民収容所到着 6. 10 北見における第1回の屯田兵の移住が行われ、298戸男966人女276人計642人 7. 15 野付牛外一ヶ村戸長役場を設置、12月市街地南24・25番地に庁舎を建築移転 11. 2 道庁官制改正により網走郡役所を廃止、網走支庁を設置 ・高台に神社を設け護国神社と称した ・大通東6で仮教授を開始(本市教育機関の始まり)



明45 若松橋(土湯武士内橋)



明31 西小学校(野付牛尋常小学校)



明30 戸長役場

いま 大学で



1. 子供時代とマインドコントロール

人間は、子供時代のマインドコントロールがなかなか解けないものである。昔の人が「三つ子の魂百までも」といったのも3歳児までに受けたマインドコントロールが一生続くという意味である。したがって、現代若者の子供時代の社会背景と年配者の子供時代の社会背景が大きく違うのだから、社会背景の相違からくる世代格差は当然のことである。子供時代の社会環境や育ちに大きな影響を受けている。物不足時代に育った年配者と豊かな時代に育った現代っ子と価値観が違うのが当たり前である。しかし、自分がかかったマインドコントロールが最高の尺度と思い込み、他人の尺度を認めようとしない。

2. 儒教文化の影響

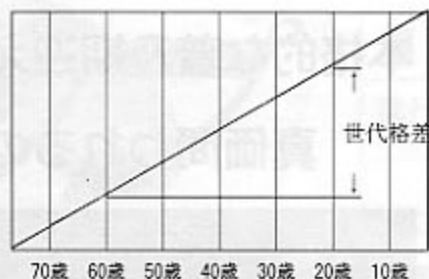
日本は中国から伝わった儒教精神の影響を受けている。先輩を尊敬することや親を大事にする精神は、人間として当然のことであるが、残念ながら現代若

者(特に現在の学生)には、儒教精神のかけらもない。しかし、当然のことで前述したように現代子供の社会環境がそうした状況にあるのだから。

戦後、若下と女性が強くなったと言われたが、この時代に日本女性から儒教の精神が抜けたのである。この女性に育てられた子供たちからも徐々に儒教の精神が抜け始め、現在では完全に儒教の精神が抜けたようである。

3. 大人と現代若者とのギャップ
上記の図でも理解できるように60代と20代とは、価値観に大きなギャップがあり、その差の大きさから各種のトラブルが生ずるのは当然であり、年配者が現代社会になじめないことを現している。

4. 儒教精神が抜けない男性社会の危機
地球規模で西欧型民主主義社会が進みつつある中で、年功序列意識が強く居座っており、なかなか能力主義を導入できないのである。韓国は日本より儒教精神が残っており、これでは国が滅びると嘆いている人がいる。市場経済が地球規模で動きだし

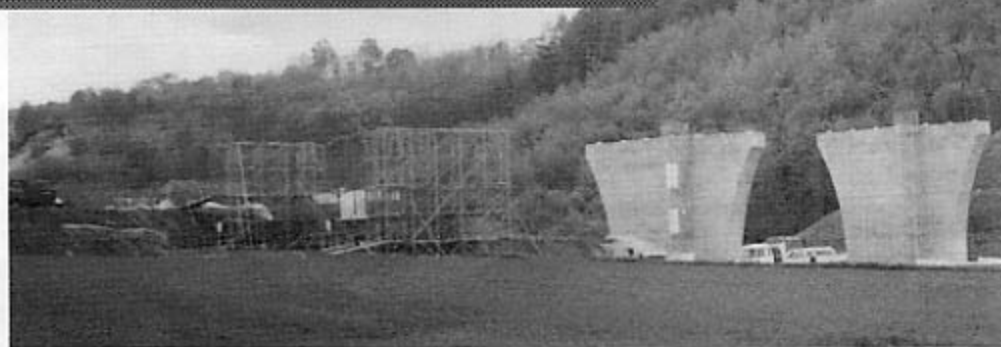


た現在の新しい競争の時代は、西欧型民主主義社会を前提とした能力主義の手法を人事に導入しなければならないのである。日本的経営は、儒教精神を前提としたピラミッド型組織による集団行動による経営であり、近年の新聞紙上で事件となっている日本の経営の破綻は、このような根深い問題を抱えている。

新しい人間 関係の視点

北海学園北見大学商学部教授 阿座上洋吉さん

気になる風景



北見環状線

東陵大橋

東陵町—東6号線つなぐ

今回、気になる風景で取り上げる現場は、網走土木現業所発注による「北見環状線、東陵大橋新設工事」です。

北見環状線を通行した方ならだれもが、疑問に思ったことでしょう。「この橋が出来上ってどこへ続く道路なんだろうか」と。

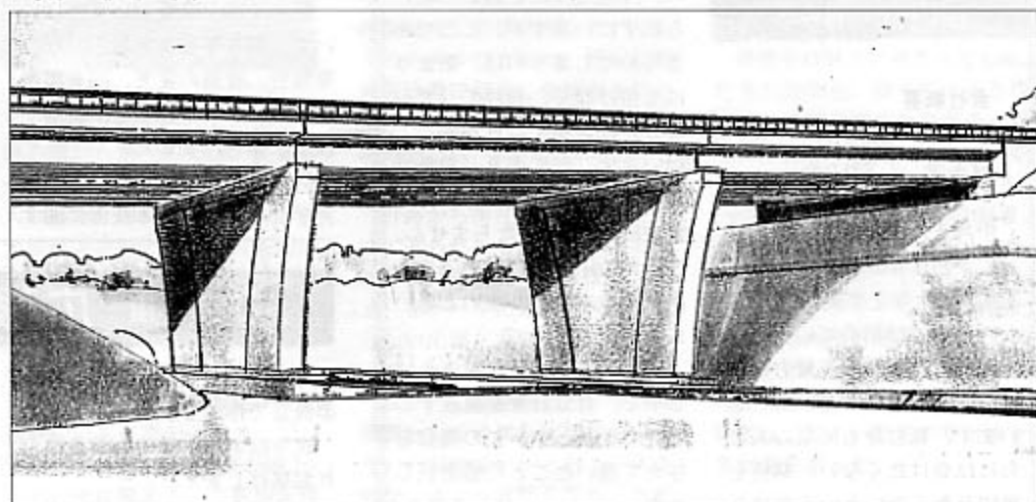
実は、この橋が開通すると東陵町から東6号線までの通行が可能になるそうです。

では東陵大橋の概要について説明します。橋長L=80.5、幅員W=11.0+2@3.5m、上部工3径間連続鋼板桁、下部工、送T式橋脚工2基、基礎工、鋼管杭φ800である。

東陵大橋の特徴は、①「盛こぼし形式橋台」の採用。盛土高が高い区間に橋台を置く場合、構造が大規模になるので盛土の

上に杭で支持された小橋台を設けるというものである。②阪神大震災後に制定された復旧仕様を準用した耐震性が強化されています。

現在、橋脚が設置されていま



完成予想図

私のお父さん



阿部 千尋さん
(中学1年)

手芸を手伝って くれた父

私のお父さんは、土木工事の仕事をしています。いつもおそくまで仕事をしていて、とてもたいへんそうです。休日まで、仕事をしています。そんなお父さんは、仕事のあいまをぬって、参観日に来てくれました。そうして「こうしたらいいんじゃない」とかいてくれるけど、それが先生に「このほうがいいんじゃない」といわれてしまったこともあるけど。小学生の時、手芸を手つだってもらったこともあります。

こんな、お父さんといつまでも仲よくしたいです。

すが、橋脚イメージとして、曲線による柔らかな形状は構造体と環境との違和感を軽減し、橋脚壁面にR付V字形の形状を作ることにより、橋脚自体の軽量感としなやかさを表現。今度、

現場近くまで行った時には、橋脚に目を向けてください。

道路の完成は、平成11年とのこと。開通する日を期待しています。

最新 技術

本格的な普及期迎えたが 真価問われるのはまだ先...

キヤド CAD (コンピューター支援による設計)

— 誕生と進展 —

昔は大企業でしか購入できなかった高価なコンピューターも今では個人用のパソコンが発売されるようになり、一気に私たちの身近な存在になってきています。

一方、コンピューターの出現による「産業革命」が日々進行していく中、われわれの仕事社会も様々な変貌を見せています。書類作成、見積、積算設計製図等、数えたらきりがなく、各種ソフトが開発されています。

この中でも、本格的な普及期を迎えているCAD(コンピューター支援による設計)システムは利用分野も広がり、それぞれの企業、業種を取り込みながら進展している例だといえるでしょう。

CADとはComputer Aided Designの略で、この10年間の間に広く設計、生産現場に普及してきています。

主に製造業、建設業の設計製造活動を支援する手段として活用されています。

今日、ここまで発展したCADがどのようにして誕生したのかを振り返ってみましょう。CADの基本的コンセプトは1960年代の前半に、イーバン・サザランドがマサチューセッツ工科大学で開発したものが始まりとされており、今でも使われているキーボードやライトペンによるメニュー選択等、多くの基本的なアイデアを考案しました。1964年には、アメリカ国防省の援助を受けたプロジェクトも同大学で行われ、CAD利用に必要な技術が研究されました。

それとは別に、1959年の初めにゼネラル・モーターズ(GM)が開発プロジェクトが発足し、1963年にはその仕様を基にIBMがグラフィックディスプレイを開発し、翌年に新商品として販売しています。

その一方で自動車メーカー、航空機メーカーは、その商品が製図や設計等に使えるのではないかと興味を持ち、60年代の後半には商用のCADシステムが発

展しました。中でも、ロッキード社のCADAMというシステムはCADの実用化という点から、代表的なものだといえるでしょう。

80年代の後半になると、パソコンをベースにしたものが低価格と妥当なコストパフォーマンスによりCADの普及に貢献したため、今日は特定の大企業だけではなく、幅広い分野での導入が進んでいます。

当初はCADで設計、製図した部品データを生産準備部門のNC工作機械に直接役立てることが導入の目的でした。

しかし、CADの製図機能の発達やコンピューターの処理能力の向上に伴って部品の設計、製図の作業のみならず、複雑な位置図、組立図の設計、製図業務への適用も可能になりました。さらに、設計上の基幹構造となりつつあるCADシステムは、その範囲を設計から製造までを補助的に支える検査部門、品質保障部門、技術サービス部門にまで広がり始めています。

例えば、検査部門においてはCAT(コンピューターによる品質管理検査)のもとに、製造された製品の実測値と、設計で指示されたCADデータとの照合検査が行われています。

品質保障部門で作成される問題報告書のような設計図面の一部と、文章から構成される技術文書なども、CADデータをDTPシステムに渡すことで作成可能になっています。技術サービス部門で作成される製品を立体的に表現したマニュアルの制作も一例です。

また、工場での制作でもオートメーション化が進み、ここでもCADとの深いつながりができています。ここではCAM(コンピューターによる生産支援システム)といい、CADで作成したデータを①初期設定、加工条件設定②加工方法の工具経路を自動生成③経路の確認、編集を行い④NCコード(NC工作機械に送る信号)に変換する。

これがオートメーション機械の動くまでの工程です。

また、設計、製図の場面では、北見管工事事業協同組合でも給排水ガス工事における作図積算が平成4年よりCADが一部を除き導入されました。

それまでの工事における申請図、積算は各業者が行い、全て手書きによるものでした。過去のその図面及び資料は莫大なものです。

今では管工事組合でのCADによる図面作成、自動積算が行われ、作成された図面等の資料及び過去の資料は、光ディスクにファイリングされることにより資料の検索、整理が整備されてきています。

現在も発展途上段階にあるCAD。コンピューターがようやく個人のものになり、CADシステムがやっと本格的な普及期を迎えています。しかし、CADシステムの真価が問われるのはまだまだこれからだと思います。



私と職場

㈱中神土木
設計事務所
内林美樹さん



略歴

昭和48年7月27日生
北見工業大学卒業
平成8年4月 ㈱中神土木
設計事務所入社

会社概要

昭和44年3月設立
資本金 2,300万円

中神土木設計事務所に入社してから1年が経ちました。土木系の大学を卒業した私は、女性としては初めての採用だったため、上司や先輩方には期待をかけて頂いていたと思います。私自身も同期の人たちには負けたくない。期待を裏切りたくないという気持ち

でいました。実際に1年間この仕事をしてきた訳ですが、やはり男性と同じようにはいきませんでした。仕事の関係でお会いした人に、女かと甘く見られたと感じた時は、大変悔しく思うのですが、その一方で、女であるという甘えを捨てられないでいます。自分の手で仕事を最後まで終わらなかつた時など、女だから仕方がないと自分で自分を許していました。

このままじゃいけないと悩み、今もそんな状態から抜けられずにいますが、ここであきらめてしまうのは、あまりにも惜げなく、負けてしまったことに後悔する日が来ると思っています。なにより、お世話になっている上司の方々や先輩方に、申し訳がたちません。今はまだ引張ってくれる方々がいるので頑張りたいと思います。

また、この文章を書き上げる中で、自分自身を見直すことができました。この機会を与えて頂いたことに感謝致します。

クイズ

(1)~(6)の問題を解いて二重ワクの文字を並べ替えると、ひとつの言葉ができます。その言葉を当ててください。

- 1) 明石家さんま・矢沢永吉・高倉健。3人とも同じ商品のCMにでています。その商品は?
- 2) 長野オリンピックのキャラクター、スノーレツツ。ある鳥の子供たちがモデルですが、その鳥とは?
- 3) パラオサボテンにあるもの。
- 4) 中華料理店の名前にもなっている中国の川の名前は?
- 5) 『鱒』この字、なんて読む?
- 6) ツール・ド・フランス、ツール・ド・北海道。さて、なんのレース?

募集要領

官製ハガキに住所・氏名・年齢・学年と答えを書いて送ってください。
送り先：北見市北5条東2丁目
北見市役所都市建設部土木課
北見市土木技術協会クイズ係
締め切り：平成9年8月末日
景品：正解者の中から10名に千円の図書券を送ります。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

★こたえ★

新年度事業計画などを決定 当協会定期総会

当協会は平成9年度定期総会を6月2日ホテル黒部で開催しました。

総会では、会長あいさつに続いて、同8年度事業報告及び決算報告、役員の変更、同9年度事業計画及び予算などが満場一致で承認されました。

同9年度は、講演会や講習会、見学会の開催、土木技術に関す

る調査及び研究、土木の日の実施、広報誌「ステップ」の発行などのほか、リサイクル資源の再利用の検討を行います。

議題終了後は、道外研修の報告と安全講話が行われ、出席者は熱心に耳を傾けていました。

今後、各種の事業が具体化していきますが、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

平成8年度 広報編集委員会

今号は平成8年度の広報編集委員会で作成しました。

次号は新しい編集委員会によりお届けします。

同8年度の編集委員会のメンバーは次の通りでした。ご協力

ありがとうございました(鴨下)。

▷委員長 鴨下泰久(北辰土建)
▷副委員長 舟山啓司

(舟山組)

▷委員 松橋寛明(五十嵐建設)、阿部裕(鐘ヶ江建設)、乾静枝

協会活動日誌

◇研修見学委員会 3月3日~7日(岐阜県 岐阜県立美術館、立川市 ラフォーレ立川 橋名町 高浜発電所他)

◇広報編集委員会 2月27日から7月14日まで計5回

◇定期総会 6月2日(ホテル黒部)

(山腰測量設計事務所)、高橋直美(大起コンサルタント)、三輪真由美(北海舗道)、西堀幸夫(アース工業)、山中崇(小泉建設工業)
▷事務局 中岡良司(北見工業大学)、津嘉田雅人(北見市都市建設部)、酒井達史(同)